

CASBEE[®]-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	福島総株式会社 京都南丹工場増築	階数	地上3F
建設地	京都府南丹市八木町玉ノ井北沢37	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	65人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,000時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年4月23日
敷地面積	9,564 m ²	作成者	井上 康
建築面積	1,055 m ²	確認日	2017年4月28日
延床面積	2,857 m ²	確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%短: ★

標準計算

- ①参照値: 100%
- ②建築物の取組み: 72%
- ③上記+②以外の: 72%
- ④上記+: 72%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容をも、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		その他
総合 増築による緑地面積の縮小を最小限に抑えて自然と親しむ環境と地球環境負荷の低減に取り組んだ。		特になし
Q1 室内環境 F★★★★の積材の建材を全面使用し室内に化学汚染物質の発生が無いように配慮した。	Q2 サービス性能 工場の用途上、室内の広さや階高の高さにゆとりを持たせ、空間利用の自由さ、維持管理のしやすさに配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 増築建物の外観を既存建物の外観に合わせることであり、既存建物同様に周辺との調和に配慮した
LR1 エネルギー 使用エネルギー量の削減の為、高効率機器、LED照明器具を採用しています。	LR2 資源・マテリアル 既存建物の基礎を型枠替りに増築建物の躯体を施工し資源保護に配慮した。	LR3 敷地外環境 増築による騒音・振動・悪臭は既設基準値以下に抑え、既存同様に周辺環境に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される